

藤井 総長 による 状況分析

- 感染者数は4月以降増加傾向が継続
- 感染力1.3倍、重症化率1.4倍と報告されている変異株の割合が急速に拡大傾向
- 若年層の割合が半分超
- 家族・親族や知人など身近に接している人からの感染が大半
 - ➡ わずかな気の緩みが感染拡大に繋がる。確実な感染対策の実施を

感染傾向を踏まえた予防のポイント

❗ 仕事や学校、休む勇氣、休ませる配慮を

少しでも調子が悪い時は、仕事や学校を休み、早めに受診・相談を

❗ 家庭に持ち込まない・広げない

緊急事態宣言地域との往来は控え、まん延防止等重点措置地域との往来は慎重に判断を

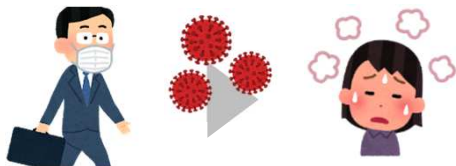
❗ 会食の場面に注意

会食に際しては、グリーン・ゾーン認証施設を利用し、飲食時以外のマスク着用等、お店のルールを守って短時間で

特に気をつけるべき事例

県外から家庭に持ち込まれた事例

- 父が県外の流行地を仕事で移動
→帰宅後軽い咳が出たがすぐ収まったため、受診せず
→娘に発熱、咳等の症状が出たため、受診し陽性判明
→娘の濃厚接触者として父も検査し、陽性判明
→その後、家族全員が陽性判明



! 軽い症状でも早めの受診を！
受診時には流行地に訪問している等を伝えましょう。

学生の交友関係で感染の連鎖が発生した事例

- 大学生Aに症状が出て、陽性が判明
→Aと家飲みしたサークル仲間B,C,Dを検査、B,Cが陽性判明
→Bの交際相手Eも検査し、陽性判明
→Cと一緒に会食していた友人F,Gも検査し、陽性判明



! 1人をきっかけに、仲間から仲間へ感染が広がってしまう例がいくつも起こっています。
あなたの行動が、あなたの知らない人を感染させてしまうかもしれません。
基本的な感染対策を徹底しましょう。

※ 感染予防のポイントを分かりやすく説明するため、実例を基に編集しています。

同居人及び知人に拡大した事例

- シェアハウスの住人と友人家族で、友人宅でホームパーティー（マスクを外す機会が多かった）
→友人1人に咳、発熱等の症状が出たため受診、陽性判明
→濃厚接触者として全員を検査
→全員陽性(変異株)と判明



! 変異株は感染力が強く集団の感染人数が増加しています。「親しい人＝安全」ではありません。
家飲みや屋外でのバーベキューもリスクがあります。

濃厚接触者の健康観察中に陽性となった事例

- 娘に症状が出て、陽性が判明
→濃厚接触者として家族(無症状)3名を検査し、陰性。
→2日後に夫が、7日後に息子が発症、検査し陽性判明。



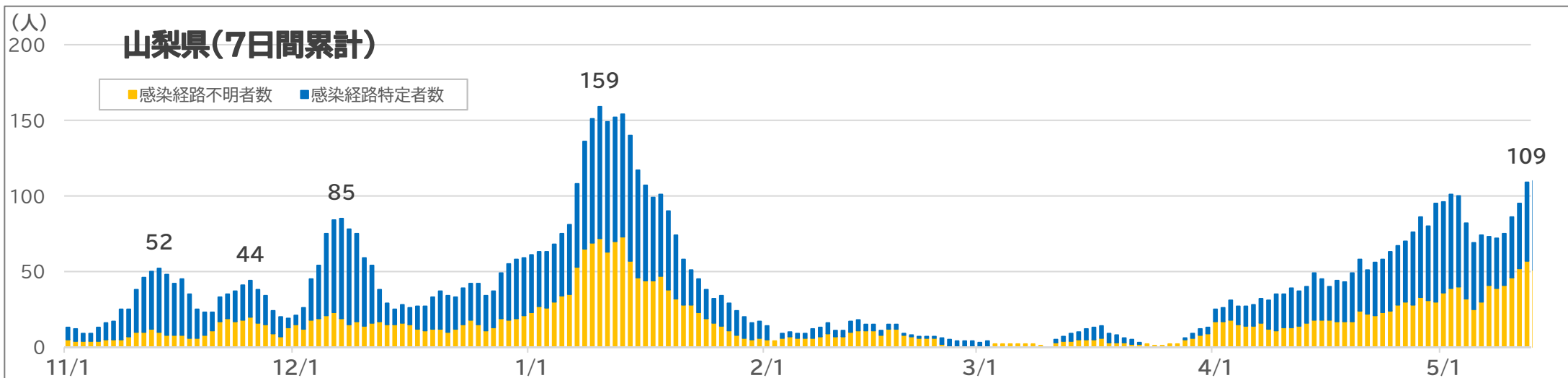
! 1回の検査で陰性となっても安心できません。
濃厚接触者は、最終接触から14日間の自宅待機を。陽性になる可能性を考えて外出はせず、保健所の健康観察には必ずご協力ください。

最近の感染傾向

新規感染者数(7日間累計)の傾向



4月前半から感染者が急増し、4月は1月に続き過去2番目の感染者数に(243人)

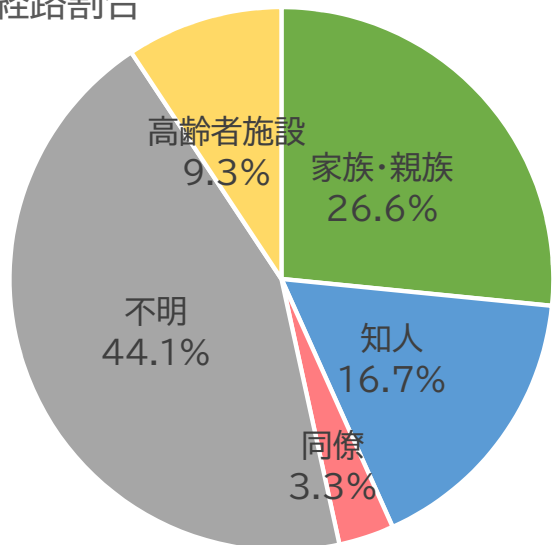


4月以降の感染経路の傾向

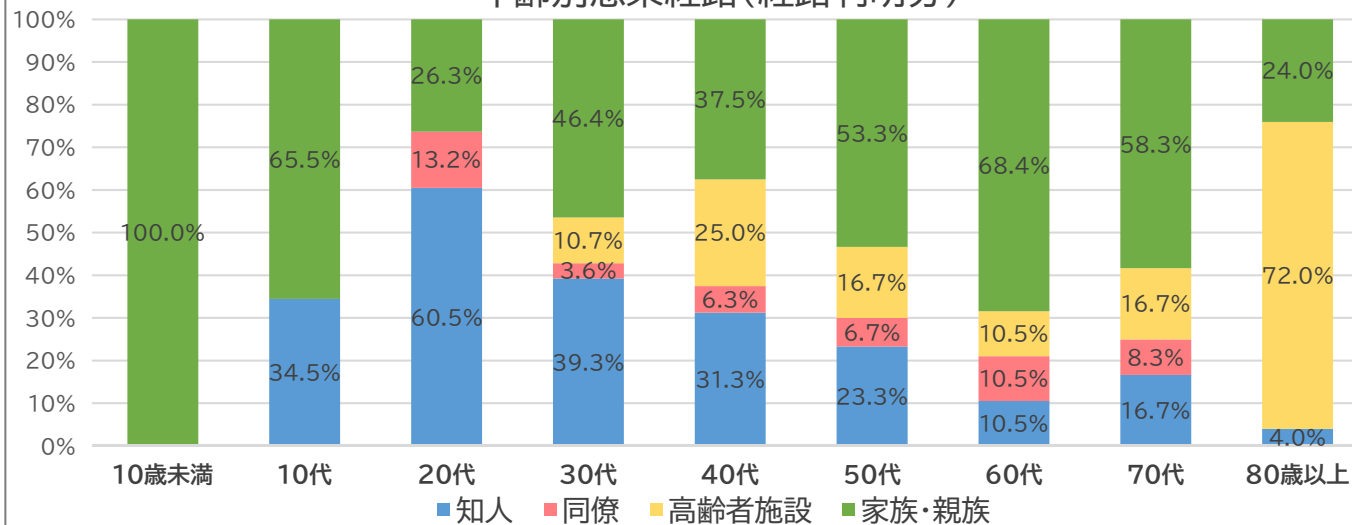


若年層は知人や家族・親族からが、中高年層は家族・親族内や施設内感染が多数

感染経路割合



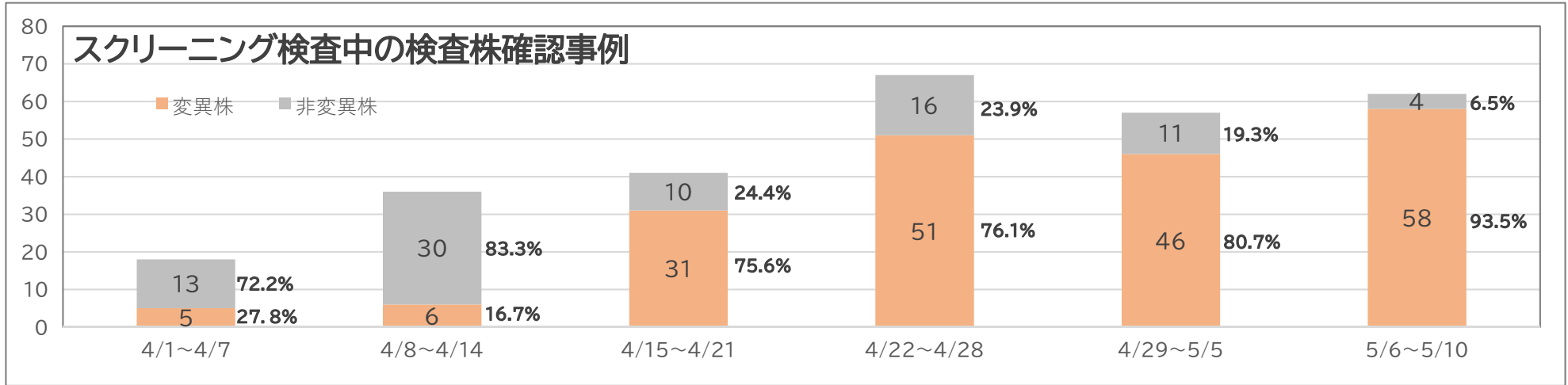
年齢別感染経路(経路判明分)



変異株の県内確認状況

変異株確認事例

👉 4月前半から県内確認事例が増加
スクリーニング検査の9割超を占める状況に



変異株の年代別確認数

👉 20代の確認事例が最多
(高齢者は施設での変異株クラスターが多数)
※型別では、英国株が106件(53.8%)
(その他はゲノム解析依頼中等)

